縣民の友

發行所 和歌山市小松原通一丁目 和歌山縣企畫廣報課
編集印刷發行人 杉本珍巳
印刷所 和歌山県印刷所
旬刊1日・11日・21日發行
定価一部2円50銭

年末手當は中央なみ

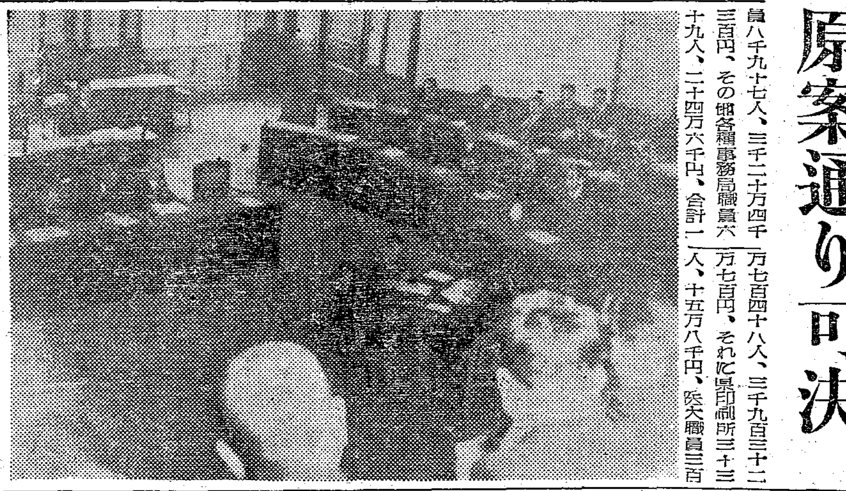
上提全案 原案通り可決

十二月臨時縣議會

県庁職員および教職員その他各種事務局職員の年末手当を決める十二月臨時県議会は二十一日午前十一時から県議会議場で開かれた身にさしかゝる年末手当が審議されるとあつて押しかけた地方職員や教職員、それに家族までが加わつて傍聴席は超満員のうちに議案提出後小野知事から提出議案につき財源を政府から割当見込みの平衡交付金に求めたことゝ、月収の五割に止めざるを得ない事情を説明があつて直ちに休憩、全員協議会に移つて午後二時四十分再開委員会審議を省略して原案通り可決確定続いて十津川紀の川開発に関する小川農地部長の説明があつて同三時半閉会した。

国家公務員にならつて年末手当は月収の半分として上程された追加更生予算は四千百四十八万七百円、特別会計として県印刷所追加更生予算十五万八千円、県立医大同医専および理科短期大学追加更生予算九十七万一千百円となつている。

内わけは県庁職員二千五百八十二人、八百八十七万百四円、教職員八千九百十七人、三千二十万四千三百円、その他各種事務局職員六十九人、二十四万六千円、合計一万七百四十八人、三千九百三十二万七百円、それに県印刷所三十三人、十五万八千円、医大職員三百六十七人、九十七万一千百円、その他農業調整委員会の職員補助二百十五人分六十一万九千二百円、農地委員会職員補助二百十一人分五十六万九千七百円、これに要する財源は平衡交付金から四千二十四万八千六百円、国庫負担金二千三万二千百円で、県印刷所職員の十五万八千円は印刷作業収入でまかなわれている。



模範こども銀行表彰

大臣賞二校、知事賞八校

全国で二万二千行以上を算え、貯金額も十六億という素晴しい成績をあげている「子供銀行」を更に奨励するために大蔵省では去る十一月二十一日全国の模範優良こども銀行（郵局、農協組）を百行表彰したが本県からも和歌山市雄湊小学校の「雄湊こども銀行」と日高郡上山路中学校東教室の「東こども銀行」の二行が選ばれて大蔵大臣と日本銀行総裁の表彰状と賞品の伝達式が十二月十六日午前十時から県正庁で行われたが、県でもこれと合せて左の八行も県下こども銀行の模範として知事賞を授けて表彰した。（写眞は表彰式と表彰された十行の代表）

（大蔵大臣並びに日本銀行総裁表彰）
雄湊こども銀行、雄湊小学校（和歌山市北坂の上町）
東こども銀行上山路中学校東教室（日高郡上山路村）

（知事表彰）
芳養こども銀行、田辺市立芳養小学校、（田辺市）
三輪崎小學校こども銀行 三輪崎小学校（新宮市三輪崎）
塩津小学校にこにこ銀行、塩津小学校、（海草郡塩津村）
王子小學校こども銀行、王子小学校（那賀郡王子村）
高野小學校こども銀行、高野山小学校（伊都郡高野町）
石垣こども銀行、石垣小学校（有田郡石垣村）
金津中學校生徒銀行（西牟婁郡下秋津村）
三國中學校こども銀行、三里中学校（東牟婁郡三里村）

表彰された「雄湊こども銀行」は昭和二十三年二月十二日の設立で全校生徒の七〇、一%の五九八名が貯金加入、その貯金高も二十二万四千八百四十二円の成績をあげ一人最高五千百七十五円、平均三百七十六円という優秀な成績をあげているが、各学級毎に支店長、同代理、原簿係、勘定係、窓口係の五名をおき毎週金曜日の一時から二時まで各教室で営業している同行は戦災地の和歌山市内で金銭の無駄買いが多く一般に経済観念の乏しい環境にありながら三和銀行の指導を受けて県下各校にさきがけて開店、児童自らは（イ）、文字、数学が正確になり（ロ）、暗算の力がついた（ハ）、そろばんの生きた使い方が出来るようになつた（ニ）、誤記、誤算の場合徹底的に調べ、解決するまでやり通す態度が身についてきた（ホ）学校の器具の取扱が丁寧になつたと先生を感心させ、父兄側からも（イ）少額の金でも大切にするようになつた（ロ）家事の手伝いをよくするようになつた、（ハ）金の使途が計画的になり生活に企画性をもつてきた、と喜ばれ児童の貯蓄思想向上により各家庭の低下した貯蓄観念によい感化を与えている。

「東こども銀行」は日高郡上山路村の山奥にあり、創設も昭和二十四年五月十一日で日も浅く、総額も二万一千四百円六十八銭だが全校生の百%の七十名が加入、しかも、その全部が生徒自らの勤労によつて得た収入である点が、特色である。最高千八百七円、一人平均三百五円七十一銭、係員は局長一名、同代理二名、窓口係二名、記帳係二名、原簿係二名、現金係二名の十一名が選挙で就任、毎月一日と十五日の二回営業しているが何しろ同校は山村のしかも貧村のことゝて小学校の一部を借り受けているので適当な施設や営業場所もないが木炭運搬やぞうり作り、子守り等で稼ぎ貯めた尊い汗の結晶であるだけにたゞに貯蓄推進だけでなく生徒の勤労意欲の向上と、家庭経済の節約貯蓄の増強にも大きな効果をあげている

今冬の木炭は？

二月頃から値下りします

昭和十四年以来十年にわたつて強力な配給攻び価格の統制が行われてきた木炭は昨年の三月十五日をもつて自由販売となつたことは皆様御承知の通りでありますが、統制撤廃後最初の冬である今冬の木炭需給状況は一体どうでしょうか。

先ず県内における木炭の生産実績は十一月末現在で百十五万四千俵であつて昨年同期に比較すると二二%の増加を示しており、この調子でゆくと年内に百八十万俵の生産が見込まれることになつて昭和十七年以来の好調であります。

これを月別にみますと、前年は比較的低調であつたが後半に入つて急に生産が上昇してきたもので昨春統制撤廃の直後はその反動と季節的の原因によつて取引が停頓し価格も生産費を割るほどの低落を示したため製炭者が生産を差し控えたのでしたが、その後今冬の需要最盛期における木炭需給の極度のひつ迫が予想されるに至つたため県では八月に冬期木炭生産対策金融措置を講じて十万俵を目標に木炭の集荷備蓄を図つたので追々価格が上昇し始めたところへ、朝鮮動乱による特需景気の煽りが加わつて一層値上りに拍車をかけた結果、製炭業者の生産意欲を大いに刺戟して現在の好調を齎らしたものと思われます。

次に十一月末までの県外移出量は四十八万俵で年度内には少くとも七〇万俵に達するものと推定されますがこの中で過半数は本県の特産品であり、木炭界の白眉として国に名を知られている備長炭であります。備長炭はウバメカシ及びカシ類を原料として独特の備長窯で生産される硬質の白炭であつて、一般家庭向よりも特に鰻焼・魚焼・煎餅焼その他高級料理用として珍重され、戦前には京阪神を始め東京・名古屋の諸地方へ大量移出されていたものです。

一方県内における一ケ年の最低必要量は百三十万俵と推定されるので差引不足量の二十万俵は他府県産のものを移入しなければ需給の均衡が取れない訳ですが、本年度は全国的にも増産の傾向にあるから引取価格の折合いさえつけば移入も至難ではなく、現に高知・島根・徳島等から相当量の入荷をみておりますので、各家庭でも従来の統制時代に比して稍々暖かに正月を迎えられたことゝ思います。然し一面では意想外の高値で特に台所を預る主婦の方々には頭痛の種ともなつたことでしょうが、この高価も二月頃からだんだん下落するものと思われます。木炭の消費部面についても大いに工夫して節約につとめられることを希望します。（林務課）

住宅融資の標準建設費

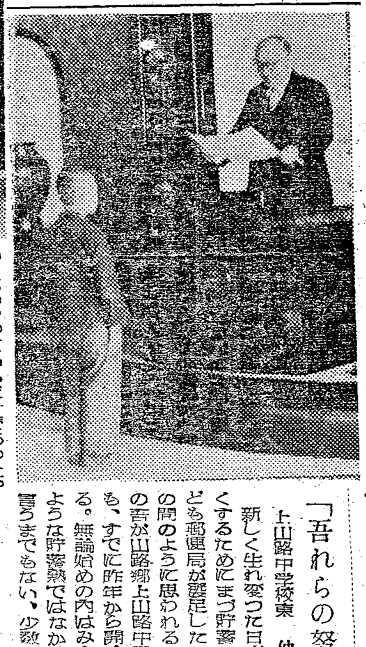
朝鮮動乱とこれに続くジェーン台風に伴う建設費の値上りに対して住宅金融公庫の融資住宅の標準建設費が次の通り増額改正されました。

木造住宅の場合
和歌山市、海南市、海草郡内では坪当り 二〇、〇〇〇円
その他の地域では坪当り 一八、〇〇〇円

なお木造で外部を防火構造とした場合は夫々坪当り一、〇〇〇円増となります。

この標準建設費の増額は既にしゆん工して公正証書による債務弁済抵当権設定契約を締結してしまつた方以外は適用されますから増額融資を希望される方は申込をした金融機関に申出て手続きをして下さい。

貸付契約は来年の三月までに着工の見込が確実な場合は締結することゝなつておりますが融資総額の枠があるので契約額が予定に達すると契約の締結を締切ることゝなります貸付契約の締切り時期も迫りつゝありますから至急契約を締結して下さい貸付契約をしていないと本年度内の貸付を受けることはできません



南信北信

▲誰が考え出したものか、いつの代に始まつたものか悠久無限の時間に勝手な節をつけて勝手に歳の始めだと勝手にめでたがる。▲そこが「おめでたい」のかも知れぬが、兎に角無上にめでたいんだから仕方がない。▲「我邦の物とこそ思え初日の出」▲日の出は地球の自転により毎日繰返している天体現象だと言つてしまえば其れ迄だが、兎に角吾々にはめでたく見えるんだから是だつて理屈のこね様もあるまい。▲年百年中毒体を吐くのを商売と心得ているひねくれ者の南北子ですら、今日だけは何とか一つと、お上品な文句を並べたがるんだから、こいつ全くおめでたいにちがいない▲何は兎もあれ、猫もしやくしも心気を新にして世界を眺め直す処に正月というものゝ精神的意義が生れるワケ。▲本紙も今度で四回目のお正月▲石の上にも三年とかこの頃になつて、大分新聞らしくなつて来たと義理にでもおだてゝ呉れる人のある様になつたのも又めでたい事の一つ。▲今年こそ更に大に張り切り、百万県民の御期待に添うべく一大飛躍を期している。▲切に倍旧の御支援御鞭撻が願いたい。（Ｍ）

「吾れらの努力」

上山路中学校東 仲田醇

新しく生れ変つた日本をより良くするためにまづ貯蓄からと、こども郵便局が発足したのはついこの間のように思われる、山また山の吾が山路郷上山路中学校に於ても、すでに昨年から開始されている。無論始めの内はみんな現在のような貯蓄熱ではなかつたことは言うまでもない、少数の者がちよいちよいやつているだけであつた。

しかしだんだん月日のたつ内にその加入者が増え貯蓄の内容を理解し自分等に与えてくれる安心感と生活の向上即ち合理化などいろいろと良い点に気づき、現在では全生徒の百%の加入者となり月二回の貯金日にはみんなにこにこ笑顔でやつて来ます。

係員もだいぶん慣れて帳簿や通帳に軽くペンを走らせていますけれども現在のようになるまでには各自の苦労と忍耐とがあつたからこそなのです。

寒い風のピューピューと吹く日にでも、山深の炭焼小屋から炭を運んだり、また炎天下太陽の照りつける日に砂を運んだり木を持つたり、ある者は子守をし家事の手伝などあらゆる努力と方法によつて得たる小量の金額を徐々に積み重ねみんなの手で努力の山を築いて来たのである、その努力の最中に更に吾々に拍車をかけた吉報があつた、それは過る十一月中旬の新聞紙上に上山路東こども郵便局表彰さると大きく載つていたことだつた、先生を始め加入者、係員などみんなで躍りして喜こんだ、このように表彰されるような成績をあげることの出来たのもみんなの努力の結晶と言わねばならない、

今後ますます貯蓄に努力し新しい良い日本を作るための基台を作らねばならない。

人權に關する懸賞論文募集

一、題目
國民生活における人權問題を論ず

二、內容
1、一名一篇 四百字詰原稿用紙五〇枚以內
2、住所、氏名、年令職業を明記のこと

三、締結 昭和二十六年二月十五日
送り先 東京都千代田霞ケ關一ノ一 法務府人權擁護局第三課

四、賞（法務總裁賞）
一等 一万円 一名
二等 五千円 二名
三等 三千円 三名

五、發表 三月三十一日
原稿は返却しない、版權は人權擁護局に帰屬する

法務府

人權に關する學生論文募集

一、題目
「すべての人は、皆同じように、人間としての自由と権利とを持つており、お互にこれを尊重しなければならない」ということに関係のある事柄で、自分で経験したりあるいは特に感じたりしたことについて自由に題を選んで書くこと

、應募資格
（1）中学生および高等学校生に限る
（2）一人一篇 四百字詰原稿用紙五枚以內（中学生）
〃 十枚以內（高校生）
（3）住所、氏名、学校名、学年男女別を明かにすること

三、締切 二十六年一月十五日
送り先 和歌山市內 和歌山地方法務局（懸賞論文と朱書すること）

四、賞
（イ）中学校生徒
一等 文部大臣賞と法務総裁賞品（二千円相当） 一名
二等 〃 〃（千円相当） 三名
三等 〃 〃（五百円相当） 五名
（ロ）高等学校生徒
一等 文部大臣賞と法務総裁賞品（五千円相当） 一名
二等 〃 〃（三千円相当） 二名
三等 〃 〃（千五百円〃） 三名

五、發表 三月初旬

文部省
法務府

1951年の抱負

結核豫防に財政的裏付

衛生部長　前田敏範

新日本建設の希望に輝く新年を迎え、県衛生行政を進める上に、最も大きく取り上げたいと思う重要問題について、いさゝか所懐の一端を申述べたいと存じます。

私は、県民の健康を蝕み各自の業務を阻害している無形の敵、それは、結核であると断定いたしたい。結核の予防並びに撲滅は、我が国保健上の一大事業であることは一般の等しく認めるところであり、古くからこれが対策を強調せられ、政府においても累年尨大なる経費を計上して、万全を期しているにもかゝわらずその顕著な成果をみるに至つていない状態であります。

結核の予防撲滅は、六ケ数いこと云わねばなりません。

併し私は、新年の重点施策として、この問題と四つに組んで百万県民の体内から結核を追放し、保健衛生の向上に努力いたしたいと思います。

結核が如何に多いかはいまだ一般に認識されていないようでありますが結核死亡の一番少ないのはデンマークで、次はアメリカであり、最も多いのは我が国となつている。日本はアメリカの約五、六倍の高率で、数字上から観察すると、約四十年前のアメリカの状態である。右の数字は死亡者であるがこれを罹患数で例えると、收容定員千人の映画館に観客が満員とすれば、その中療養所に入院を要する約二十名の肺病患者が隣席の健康なお客に結核菌を播きたらしていることになります。

本県の結核死亡率は（人口十万対）一四二人であつて全国平均よりは少ないが、全国で一番低率の山梨県の九二人に比べ約五〇人の差があり、本県は第三十番目の順位に当る。さらに又、年令別による死亡数は、年間、二十才から二十四才までの青年期が最高で三二三人の多数に上り、次で二十五才から二十九才までの二二四人となつている。貴重なる青年期に亡国病の多いことは、県勢発展の前途に、一まつの憂慮を感ずる一人であり、結核対策の主眼点は、青少年層に置かれねばならないことを強調するものであります。

然し結核を怖れてはならない。結核に対する研究、予防並びに治療各般においては、我が国は、欧米諸国に比し決して遅れてはいないからであります。

従つて結核対策は、早期発見、早期治療をモットーとし学校、会社、工場事業場等における集団検診を励行すると共に、一般民衆の啓蒙運動を積極化し、一方病院、診療所、一般開業医師の届出等の側面的な協力を得て、比較的この方面の知識に乏しい民衆をして、自主的な受検態勢を醸成することが、予防対策の中心をなすものであらうと思います。

右趣旨の実現を期する、新年度においては、健康診断料及び予防接種の一部料金の公費負担を計画しています。

而して、要療養者に対しては、政府においては、主食の特配など細心の注意をはらつているが、結核患者の收容施設を増強することによつて、自宅療養を極力排し、療養所に入院せしめて、最近急速に進歩したストレプトマイシン、パス等の治療薬並びに外科手術等の科学的な治療法をとることが、撲滅対策の要件であり、可及的速かにこれが施設の拡充強化の必要に迫られています。

立派な近代的特殊治療を行い、個人の医療費の節減を図るため、前述の予防措置の公費負担と同様の意味において、医療費の部面についても公費負担を計画し、二分の一乃至全額を補助することになつています。

現在全国で約九万の結核病床を保有しているが、これでは著しく不足するので、厚生省においては結核撲滅四ケ年計画を樹ててこれが対策の万全を期している。即ち本年度以降四ケ年間にさらに十万床を確保しようとし、第一年度において二万一千三百床を増加することになつています。

本県では、二十五年度において県立医大病院に県立結核療所（百二十床）を併設することになり、目下工事進行中で新年初頭には患者を收容できる見込であります。又国立延寿療養所に二百床を増床した外海南市民病院に三十三床の結核病棟を新築中であり、その他紀南地区に国立療養所二百床の設置計画があります。

さらに昭和二十六年度においては、和歌山市城南病院（伝染）の一部を転用し六十床の結核療所を新設する外健康保険組合で二十床その他一般病院の増床計画を合せ約三百床の増加を予定しています。

要するには結核は、科学的な予防撲滅対策を強行するならば、必ずやその目的を達せられるものと確信するのでありますが遅々たる過去の減少率から云つてこれが対策の実施にあたつては、根強い忍耐力と、積極的な斗病精神が必要であると同時に、諸施設の整備その他予防措置及び治療等に要する経費を賄う財政的な裏付を、もたねばならないことは申すまでもありません。

一九五一年を迎えて

土木部長　熊本政晴

新しき年を希望に満ちて迎へたことも、すでに数々のことではあるが、今年こそは特に深い意味をもつた年である。それは一九五一年が二十世期の後半期への発足の年であり、新しい段階への前進の年であるからである。

なお又今年は兎の年、即ち跳躍、飛躍の年であるからでもある。

一と謂ふ数字がもつ意味の「スタート」と兎年が意味する「飛躍」の年であることを思ふとき、そこに大なる希望と勇気とが湧いて来る。

二十世期の前半は機械文明の最盛期であり資本主義経済が世界に君臨し、各国は勿論我が国に於ても政治、経済、文化のすべての面に所謂二十世期近代文明の絢爛たる絵巻物が展開されたのであるが、漸次数多くの欠点と此評とが行われ、やがてソ連が生れ帝国主義が衰びした。特に我国は従来の帝国主義、軍国主義を放棄して世界の文化国家、平和国家として生れ変つた。そして終戦以後社会情勢は段々平静をとりもどし、ここに二十世期の前半は終りをつげた、そして今年は愈々後半期に発足し更らに一段と躍進して新しき世期を踏み出すことに運命ずけられたのである。

この意味をもつた年を迎へ私共はここに充分なる準備と覚悟とを持たなければならないと思ふ。

今本県の公共土木施設をみるに、私達はそこに一体何を見付けるであろうか。私達は僅かにそこに建物としての県庁舎、交通施設としての国有鉄道（紀勢西線）、道路としてほゞ完成した国道一五号、又橋梁としての北島、古座の両橋等を見出すのみではなかろうか。

本県は海に恵まれ当然水産県であるべきなのに、完備した漁港は一つもなく近府県との懸隔が余りにも大きく本県水産業に及ぼす影響も亦非常に大きい。又国道四十一号線も県下の最重要の大幹線であり宇多上皇より亀山上皇に到る間九十八回の御幸があり所謂熊野詣として賑い近代の御幸も数度あつたにも拘らず、今日の姿は如何にも残念である。

熊野川沿岸の幹線道路も未だ太古の深い眠りをつゞけている。農山、漁村は累年の災害による打撃と産業の衰微とによつて特定地区を除いては、その生活はひつ迫し財政的危殆に瀕しつつある。都市には家なくして新年を迎へる数多の人々がいる。このことを思ひ更らに新しき年の深い意味を考へる時私は、既に着工している数々の重要土木事業の飛躍的促進は勿論新しき年の新しき事業として県下重要幹線道路の整備。漁港、港湾の改築。高潮、地盤変動対策事業。防災ダムによる発電計画。近代的様式をもつた庶民住宅の建設。電源の開発等の事業が各地に起工されてこそ芽生への年として又發足の年としての意義が、初めてあるのではないかと思ふ時、更らに一段と胸の高鳴りを感じて止まないのである。

増産施策を遂行

農林部長　遠藤茂

希望に輝く昭和二十六年の元旦を迎えるに当り謹んで県民の皆さんに年頭の御喜びを申上げます。

昨年は麦の凶作に引続きジェーン台風、イモチ病の惨害と相次ぐ受難の年に暮れましたが本年こそは豊穣の年を迎えたいとひたすら念願致しているものであります

本県は食糧消費県であり、災害県という立地的条件に加えて日本農業転換期に直面している今日、本県の農林行政は多岐複雑を極めるものであります。

私は一般農業面に於て特に主要農作物水稲については災害対策、秋落対策、病害虫対策に主点を以て増産施策を遂行し本県の自給度を高めると共に土地の高度利用によらねばならぬ立場に於て柑橘、落葉果樹の振興、特に柑橘に於ては経営の合理化、農民系統えの転換、販売組織の改善強化を図り、紀北地帯を中心とする落葉果樹の振興と紀南の晩柑類、ソ菜、花卉の新天地開拓等転換期に即応する農業えの進展を期さねばなりません勿論こうした問題は農業改良事業の進展と共に着々進めつつあるものではありますが本年は一層の拍車をかける予定であり、又農業転換期に於ける技術改善と共に経営改善は緊要でありますが農産加工を中心とする農村工業は特に主力を注がるべきで生産と加工を離しての農業は成立せず、この面については加工の高度化と経営の共同化を指標に進みたいと思うものであります。

更に畜産関係に於ては紀南の野牛生産地、紀北の役牛育成地それに酪農地帯の開拓を目指す本県としては一層畜産振興を痛感するものでこれが実現を期するものであります。

林業関係に於ては何と云つても山村の不況対策に主力を注がるべきでありますが火災に次ぐに火災を以てする現状と不況に伴う造林資金の欠乏は造林上の一大支障であり、先づ火災防止対策に思切つた百年の計を樹立することと、有利樹種導入と共に一般農業と林業そう合対策によらねば根本的山村不況克服は期し得られないものであります。更に砂防事業といひ林道開設といひ重要課題は限りないのでありますが特に林道開設は凡ゆる山村不況対策中その解決の基盤をなすものであります。

水産漁業に関しては漁区の調整新漁場の開拓、漁港の整備拡充、更に沿岸零細漁民の生活安定など目下の緊要問題でありますが半農半漁地帯の生活安定は漁業面のみでは解決し得られるものでなく、一方農業経営の合理化と漁業経営の合理化の結びに於て初めて目的を達するものであります。

以上農林漁業の各部門に於て夫々問題は山積していますがこれが解決は一に夫等の有機的なそう合対策によつて初めて解決を見るべきものでありまして、転換期に立つ本県の農林漁業もこうした線に沿ひ施策を進めたいと思うものでありまして県民各位の絶大な御協力を御願申上げる次第であります

社會保障制度の確立

民生部長　福井榮一

糸へんだ、金へんだと景気のよいニュースが伝えられている。

然し又その反対に、毎朝早くから職業安定所へ職を求めて集つてもあぶれて帰る沢山の人々、一寸長い病気をすれば充分医者にもかゝれぬ多くの人々、働く一家の中心を失つて生活にあえぐ母子家庭や老人達、人一倍働いて病気になつたり、径我をしてもその後の生活が完全に保障されぬ人々等が沢山いる。

「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する国はすべての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」と憲法は明らかにうたつている。それにもかゝわらず国民生活に対する保障の現状はどうか。

前述の実相はこれに対する無言の抗辯である。

ここに社会保障制度確立の必要性がある。社会保障制度は生活困窮の原因を個人的欠陥に基づくものでなく、社会全体に責任があるとなし、社会全体の力で生活に困らない様をしようと云う仕組であるが、此のことは個人的責任を社会全体が肩替りすることではなくてむしろ個人の責任を強調し助長するのが目的であつて決して惰民を養成するのが目的ではない。だからこそ此の制度の中心をなすものは、保険料を支払つておくことによつて、後に病気事故等が發生した時、権利として給付を受け得る社会保険が中心となつてゆくのである。

昨年十月、政府に対して、社会保障制度実施についての勧告が、社会保障制度審議会から為されたことに基いて政府では目下実施方策について研究を加えている。勿論現在に於ても不完全乍ら社会保障は色々の形態で行はれているが、此の勧告が出されたのを機として一層強力且完全な社会保障が一日も速かに実施される様、年頭に当つて祈る次第である。

新春を迎えて

農地部長　小川文良

一九五一年の新春を迎へて県下一〇万農家の皆さんと共に将来の吾が家の農業吾が村の農業の在り方に就て検討を加へて平和農村の建設に邁進致しますことは喜びに堪へない所であります。皆様既に御承知の様に吾が国の農業も愈々近き将来に於ては世界経済の一環として諸外国の近代的農業と競争せねばならぬ立場に置かれてゐるのであります。

この一大転換期に際会して適正なる対策を講ずるのでなければ吾が国の農業は大いなる打撃を被て折角漕ぎ上げた農地改革の成果も水泡に帰するでありませう。

農地改革から農業政策へと転換すべきであります。

新しい農業政策を樹立するには色々考慮すべき点が多いのでありますが特に注目すべきことは農業労働生産性の向上であります。之には耕種方法の改善役牛農用機械の導入、共同作業等色々考へられるがその前提としてやらなければならないことは農地の改良、交換分合であります。農地改革によつて民主化された土地制度を基盤として吾が国の農業を近代化し、もつて世界経済に伍し得る程度の農業に迄発展せしめる為には更に吾が国農業の欠点である農地等の著しい分散状態を是正すると共に農地の改良を加えて土地利用の高度化を計ることが緊急に要請されるので昨年土地改良法が制定された所以もこゝにあるのであります。

次に農村生活、経済の中核をなす所の農業協同組合の育成強化の重要なことは申す迄もないのであります。昨年は農業協同組合にとつては危機とまで叫ばしめた年であり又組合運動に関係するもの〻深く反省し肝に銘じねばならぬ年であつたのであります。

即ち経済状勢の変動等による農家経済のアンバランスが直ちに農協にしわ寄せられ経営基盤に脆弱性を有する農協は早くも行きずまりを生じ貯金払戻の制限、停止を余儀なくされるものが發生し本県の農業協同組合運動に一大汚点を印したことは甚だ遺憾に堪へないのであります。又農協関係者の不正背任事件の發生を見たことも大いに反省を要する点であります。

過去の実情を具体的に分析した場合これに対処すべき結論として次の事項が挙げられるのであります

一、組合意識の昂揚と組織の強化
二、役職員の素質の向上と責任体制の確立
三、組合財政の確立
四、組合事業経営の改善

時恰も農業協同組合法が改正せられ監査の強化と農業協同組合財務処理基準令が施行せられ自己資本の増加、信用事業の他事業との経理区分、内部融資の制限、貯払資金の確保貸付の制限、余裕金の運用制限等一連の組合財務の健全性をはかるための基準が法制化されたことゝ相俟つて本年はこの四大目標を掲げてそれぞれ計画を樹立して指導と検査の完璧を期することゝ致したい。本年こそは組合の基盤を確立すべき年であることを自覚し、組合内外の現状をよく認識し、予想される幾多の困難を克服しつゝ夫々の立場において熱意と理解と協力をもつて農業協同組合の強化をはかり、農家経済の自立、農村経済の自立を旗印しとして平和な民主農村の建設に邁進致したいものであります。

地盤變動調査報告書

昭和二十一年十二月二十一日の南海大地震によつて和歌山県の南端附近は隆起し、北は沈下するという現象が起り、海水の滲入等による耕地の被害も大きかつた。

其後県は莫大な経費を対策費として注ぎ込んだのであるが、その結果果してどうなつたか。

吾々の眼では全然気がつかない土地の沈下や隆起が、自然界の一つの作用として、除々に実に除々に営まれている。人間が気がついた時は既におそく、そこに自然との争いが又繰り返されるのである。

科学の力は或程度未然に之を防ぎ得る。絶えざる調査と研究が自然からの恐怖と不安から吾々と救つてくれるのである。

から昭和二十二年の間に行われていないが、地震前の一般的傾動変化から推算して、適当な補正をして大地震の時の地盤の変動を第一図に示すとB曲線の様になる。この図で明かなように和歌山市から田辺、北富田村までは一様な南下りの傾動で、どこも沈下したので北富田村か三舞村を通る東西線を界にして、宛かも地殻が折ではね上つたかのように南端が急に持ち上つている。南海地震後の最大の

も多かれ少なかれ安政地震後に比較して沈下していることである。

このことは紀伊半島の海岸を見ると周参見辺から南はいかにも土地が隆起したかのような、海岸近くの海底に多くの岩石群を見るのに、以北の海岸では、沈降海岸らしい景観を見せていることと考え合せると興味深いものがある。更に安政、宝永、慶長等の昔の南海大地震による地盤の変動の状況を

地震後の地盤沈下

和歌山市近傍の海岸が二十三年末頃から急に沈下が目立つようになつたという土地の人々の言説を確めるため調査した結果、二十二年から二十四年にかけて和歌山市を基準にして北方下りの傾斜、つまり大地震時の南下りの変動と逆の方向に全体として変動しているものと、塩津ー和歌山市間の局部的な急激大変動とが重複しているようである。恐らくこの局部

強度を決定する方法を確かにした。和歌山市でもこの方法で耐震的地盤の強度分布を決定し、併せて、地盤沈下には沖積層の物理的性質及厚さが大きな影響があるからそれを調査した。大体和歌山市では、和歌川流域が沈下の一番大きいところになる等で、今回の地盤沈下でこの附近に多少の災害があるのは、この沖積層の影響も多少含まれている。

結語

A　いやあ、しばらく…。
B　時に景気はどうだい？時節柄…。
A　相変らずといふところさ。都会はちよつと活気があるようだが…。
B　矢張り木材と漁業が振わねば金廻りがわるいね。
A　このまゝではヂリ貧だね。和歌山県は恰度日本の縮図だ。耕地は狭い。人口は増加する。收容する余裕がない。

八、二二四万となる。
B　こりあたまらん…。
A　和歌山県の人口も、昭和二十二年十月一日九五九、九九九人から、二十三年九七九、九八二人、二十四年十月一日の推計は九八五、〇〇七人と逐増している。
B　まさに日本縮刷版だね。
A　そこで何によつてこの人口を養つてゆくかだ。
B　どんどん移民さして貰うんだ

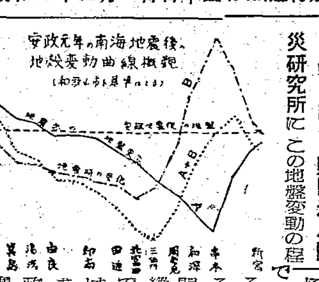
によつて増加する口を吸收しなければならぬと考えた。
B　ははあ…？
A　問題はダム建設にかゝる。
B　そうそう、そのダムが出来るとどういうことになるんだい？
A　そういふ郷土建設に対して無関心な男にあまり詳しく説明しても判るまいが、要点だけかいつまんで話してみると…。
B　是非たのむ。

炭電力に比べて水力電気は二円にしかつかぬ。現在西日本の工場が、東日本に移りつゝあるがこれは東日本に水力電気が偏つているからだ。熊野川ダムの出現は近畿工業に活をいれ遊休工場が息を吹きかへし、生産コストを低下して貿易にも重要な役割を果す。
B　なる程、効用はかりしれずだ。
A　近畿工業地帯から電源地まで

こゝにかゝげ、報告は、財団法人防災研究所に委託して行つた、和歌山県地盤変動調査の概要である。
地盤沈下害早や吾々県民の脳裡から忘れかけられた頃この一文を提供するのも無意義なことではなからう。

序

昭和二十一年十二月二十一日の南海大地震によつて、和歌山県の南端串本周辺は海岸が海水面に比較して隆起し、富田村以北の海岸は逆に海水面に比較して沈下して、大潮には街に海水が侵入したり、稲田に海水が滲入して大きな災害を起した。北方湯浅町辺から和歌山市の海岸が大地震直後には塩害も殆んどなかつたのに二十三年末頃から、除々に土地の沈下が目立つて、いろいろの災害がやかましく論議され出した。二十四年度に県当局は吾が**財團法人防災研究所**にこの地盤変動の程度並に今後の推移の調査研究を委託された。本所では多くの研究者がそれぞれ各自の専門分野から地盤変動を調査した。それ等の結果をそう合して書頭に一文をのせて本委託研究の報告書の序説とする。



南海地震による地盤變動

地盤の高低はその場所の水準面に比較して決定するものであるが最初に和歌山の高低を測量したのは明治二十九年である。その後地域によつて多少の前後はあるが、大体昭和三年頃と昭和七年頃に同一地点の高低の測量し直しが行われている。

その結果から見ると大体和歌山市を基準にとつて、和歌山市、箕島間は年々隆起し、箕島—印南間は昭和三年までは沈下しているが昭和三年に比べ昭和七年には逆に隆起している。印南以南串本までは南へ行く程沈下量が大きくなるが、とにかく年々沈下していた。其他宇治山田市—新宮—串本間の変動でも、紀伊半島の中央を縦に測量した五条—新宮間の変動でも皆大地震前は半島の中頃以南は南下りに年々傾動していたのである。この変動が若しこの前の安政元年の南海地震直後から相似た調子で今度の南海地震直前まで続いたとしたら第一図Aの曲線の標に串本辺では地盤が海水面に比較して五十三糎も沈下していた筈である。

南海大地震直後即ち昭和二十二年に水準測量をし直して、大地震による地盤の変動を見ると驚くことには、紀伊半島南端の串本辺では地震前の動きとは逆にはね上つて、和歌山市を基準にとつて約五十一糎も海面に比べて地盤が持ち上つたのである。測量は昭和七年[illegible]近で起つたのは意味がある。しかも地震前百年近くの間の徐々な変動（A曲線）と大地震の急激な変動（B曲線）とを比較して見ると、紀伊半島の南端だけは、安政大地震直後の高さと殆んど等しくなつて、其の後百年間や今度の南海大地震によつて、結局何等変動のなかつたのと同じところに返つている。然るに夫れ以北の地域はどこ[illegible]くとも紀伊半島や四国の室戸岬の先端はいつも地震前は沈下し、地震後にはね上つているようである。大地震の度毎に大変動はあるが地盤其のものは海水面に比べて大きな変化はないようである。串本辺は現在のところ既に沈下を始めて地震時の隆起の約三分の一程も沈下したようである。

和歌山市附近の南海

[illegible]地震が近年急に多くなつたものだろう。

和歌山市の地盤強度測定

地震による災害は地盤の良否によつて、非常に差異があることは昔から知られていることであるがその地盤の良否を判定する方法がよく解つていなかつた。防災研究所では数年前からこの問題を研究して、人工地震波で地盤の耐震的[illegible]

南海大地震による大変動期は既に終つて、大地震と大地震の間の、極めて徐々に進行する地変動期（—平静期とも呼べる—）にはいつている。総ての場所が大地震時の変動をかい復するように逆方向には変動しないのは困つたものである。局部的な急激変動のある地域は今後も注意を怠らず調査を進めるべきである。（佐々憲三）

地方物産を＝如何にして輸出品とすべきか

最近各都道府県では、地方自治の拡充整備に伴つて、自立的地方財政の確立が要請されるに及び、中小企業の振興、地方物産の貿易進出の問題が重要な関心事となつて来た。勿論地方物産と云つても、地方特産物と然らさるものぜい沢品と生活必要品との別があり、かつその区分に従つて夫々仕向国が異るのであるが一般的に述べる。

A 地方物産の紹介宣伝

最近の貿易市場は、所謂売手市場から国際競争の尖鋭化せる買手市場に変つて来た。従つてこれまでのように外国のバイヤーがわざわざ地方へ出向いて商品の買付をすることは、考えられない。こゝに地方物産の紹介宣伝が貿易進出の出發点として重要視されなければならない。

（1）高級にして而も効果的なパンフレット、リーフレットを作製し外国人に見せても恥づかしくない宣仏をするよう心掛けなければいけない。毎年一回は新版を發行するよう努めるべきである。

（2）外国バイヤーが往来し且つサプライヤーのい集する貿易先進地における県の物産斡旋所、或は貿易相談所を通じてこれ等の宣伝活動を一層活潑にすること、

（3）各種展示会への業者の出品をさかんにすることである業者にとつて国の内外で催される商覧会、展示会、見本市などは、実物見本広告の絶好の機会である。業者は之等の機会に出品し、自己の商品の真価を広く天下に問うべきである。

（4）在外事務所の利用についてである

アメリカの理解と好意による在外事務所の設置は貿易業者にとつて誠に喜こばしいことであつた。切角の機関であるから吾々は之を通じて海外への宣伝を行うべきである。

B 輸出品としての資格の取得

地方物産を輸出するためには、先づそれが国際競争に勝ち得る輸出商品としての資格を持たなければならないことは謂ろうまでもない。

輸出品としての「資格」とは何か「それは品質と価格とデザインである。」即ち品質が優秀で値段が安く而もデザインが外国の好みに適合していることである。

地方の輸出商品メーカーは、右の三つの要件を具備するようあらゆる工夫と努力をしなければならない。嘗てメイド、イン、ジヤパンは確かに安いと云う世界的評判をとつた。品質に照らして安いということは商業上の最大の秘けつであり、而も貿易は一銭一厘を争う国際間の原価競争であるのみならず、地方のメーカーにとつて、為替レートの決定ボンドの切下げは、益々コストの引下げを要求した。そこで結局経営の合理化と增産によるコストの引下げが考えられなければならない。

次に成程価格は安いが品質が粗悪では所謂「安かろう、悪かろう」の嘗ての世界的汚名を再び蒙ることになる。メーカーはコストの引下げを考慮する一方品質の改善と技術の向上には一層の努力を傾注して地方物産の真価を世界に誇つて恥じないようにすべきである。

更に輸出品の資格を決定する重要な点はデザインである。

本県の物産の中には品質も優秀で価格も適当であるが、デザインの研究が足りない為に、輸出に向かないものが少くなく時によつては、それがためクレームを蒙う場合がある。従つてこの方面に対する断えざる研究は決してゆるがせにすべきではない。

C 貿易業者とメーカーの連繋

地方物産のメーカーは知識も経験も少く、かつ資本も貧しいのであるから、その輸出に当つては須く貿易業者の手を通じてなすにしくはない。

D メーカーの協同団結（協同組合の設置）

地方物産のメーカーは殆んど、中小企業或は零細業者であり、大企業の前では正に〝風にそよぐ葦〟と同然その個々の力は極めて貧弱で、とても貿易と云うような大きな仕事を、かゝる地方の一小業者の独力でやることはむつかしいことである。こゝに之等業者の強き団結と、協同の必要がある。

E 県の指導及支援

地方の中小メーカーは、海外の情勢については所謂、つんぼ桟敷におると同然だといつてよい。何をどう云う風に作りそれを如何なる方法で輸出するかと云うことすら分らないものが多い。こゝに地方物産の輸出については県の正確な判断に基く万般の指導及び之が助長育成のための支援が必要なる所以がある。

県がしている指導方法につき二三の点を述べてみたいと思う。

（1）業者の実態調査

これが県の貿易振興対策の基礎資料となり、業者指導の根本となるものである。

（2）各種情報の迅速なる業者への徹底周知と云うこと。

貿易のような一刻一秒を競う事業において、二、三ケ月も遅れた情報等を提供しても、一文の値打もない。地方はどうしても情報の入手が遅れ勝ちであるから、県としては各種機関を通じて新鮮なる情報の蒐集につとめ、且つそれを、ときを移さず業者へ連絡して絶好の商権を失わないように努めてゐる

（3）貿易社の信用調査と引合についての誘導

F 貿易精神の昂揚

地方物産を貿易進出せしめるには、メーカーは良心的に優秀な製品を作り、貿易業者も、金融業者も積極的に之を支援し、又県の指導も効果をあげ、貿易精神の昂揚して経済の再建を一刻も早く確立せねばならないことを誓いて、文をとぢます。

（商工課、井上主事）

漁場計畫と漁業の協同化

漁業制度の改革は先づ漁場計画が基本になる。漁民の手で皆んなのためになる完全なものを造り上げる事に全力を尽くそう。昨年の下半期に海区漁業調整委員会も活動し始め漁業権管理委員会も漁民の声を伝え漁民の直接の声も伝えられている。漁民は現実の海の使い方から出発して理想の海の使い方に向つてはつきり要望を出して下さい。同種漁業をやつているもの又はいろいろの漁民、又は同じ経営内の人もどんな要望を出すか議論するがよい。漁民の手で持てばよい結果が生れると思うものがあれば無記名で要望するがよい。現状のみで批判することは軽率である。然し次の二点は相互に漁民として反省すべきである。

特定の人、特定の部落の漁民にとつては都合がよくても、その為に多数の漁民が困ることになるような要望や、漁業権は漁民に解放されるのだから、自分等の勝手放題だと言うて悪い漁業をしてもよいと言うことではない。これらの要望は手近かの処では漁村にある漁業権管理委員会が漁民の声そのまゝの取次きをして海区委員会に伝えられる、直接でもよい、場合によつては別途に漁業権管理委員会自体の要望も伝えられてよいだろう、特別の事情があれば漁業協同組合も管理委員会の役目をしてもよいだろう。漁民はあらゆる手を持つて現実の海の使い方について漁業権のみでなく許可漁業、自由漁業についてもどうすれば多数漁民の利益となることを具体的に要望することが好ましい。海区漁業調整委員会は先づ最初に海区の漁場の自然の状況をつかむことをやります。その次に資源の問題を考えながら生産力をあげる為の基本的の方針をたてゝみます例えば底魚類を今以上獲つてもよいだろうか。海草貝類について繁殖の可能性が漁場としてあるがどうかとか浮魚について定置漁業と旋網漁業と一本釣との均衡を今後どのように進めたらよいか、定置漁業権の数をふやすことは海区内に来る資源の問題から見てどう考えるか等の方針をたてます。さうしてから漁場に関しての社会的な経済的な状況を検討します。これは漁民からの漁場の使い方に対する要望と最初の基本方針とを較べてみましてよい方向のものはどり上げ悪い方向のものは我慢してもらうようにして漁場計画をつくり上げてゆきます。ですから委員会の行き方は海を全体的に利用する理想から出發して現実の海の使い方の問題えと取組みすることになります。漁民の現実に出發しての要望と海区漁業調整委員会の理想から出發して現実の問題に取組む間の相違が生じて、この問題をどう割り切つて行かねばならないか、今後の重要の課題となりませう。

先づ水面の利用方法を考えてみますと、同じ水面で種々の漁業がいりまじつて行われているのですからそれぞれの漁業が零細な経営者によつてバラバラに行われてはお互に喧嘩が絶えないし、みんなの生活が立たないわけです。そこで水面の全体の生産力を高めて、しかも経営が成り立つようにするためには漁業生産まで協同化してゆけば漁業の数も整理する事が、できるわけです。この場合どうしても協同組合や生産組合による漁業自営の問題に考えが進まざるを得ないでせう。生産の部面についても協同化が行われるならば魚の販売や資材の購入や信用事業其の他の共同施設が一貫してうまく見込が出て来ます。合理的な完全な漁場計画というものはそこの漁業経営が協同化されて始めて可能になつてくることです。個々の漁民の生活がたつようにするためには協同組合や生産組合による漁業の自営ができるように、そして漁業生産の協同化がうまく行くように漁場計画が作り上げられることが大切です。以上

和歌山縣建設の夢 ダム問答

新宮市 近藤重藏

B [illegible]ところだ。

A その出稼人が大方引揚げてきた。仕事がない。都会でも人は余つている。地震で打撃を受けた。年々こう水で土地は荒される。漁業は不振だし、木材界も金詰り、石炭も…。

B 君の話をきいていると気が滅入つてくるよ。矢張りダムでも作らぬと駄目かね？

A それだよ。小鹿ダムの建設は明朗和歌山県のホープだね。県としては一番大きな問題だ。

B そうですかね。

A とは情ないね。文化日本の再建にとつても期待されてるんだよ。

B といふと？

A 現在日本の悩みは人口問題だ。国際連合統計局の發表によると、世界の推定人口は一九四七年央で二十三億一千五百万となつている。自然増加率は一九二〇—一九四七年の全期間平均が一%だから、一九四九年度には二十三億七千五百万に達したと推定されている。

B ほう、大したもんだね。

A ところで日本はどうかといふと、一、三—一、五%の増加率で、お隣りの朝鮮に比べると低いが、世界平均よりズンと高い。

B そうすると？

A 一九四八年八月一日現在の總理庁統計局調査では八千二十一万六千人だつたから、一ケ年百五十万増えるとして、現在では八千三百万以上になつているだろう。

B 恐ろしいね。ダブルデーの人口法則だな。

A それなんだ。窮乏状態で増殖に有利となり、豊饒状態で不利となる保存の法則に從つている訳さ。それで四つの島の面積三六九、八五九方粁を割つてみると、一方粁当り二二六、八人といふ稠密ぶりだ。

B ベルギー、オランダに次いで世界第三位とだけは覚えている。

A ところが耕地面積を比較すると、断然日本が第一位になる。

B 有難くない第一位だね。

A 仮りにだね。一九四八年を八千万とし一、五%の増加率を固定して計算すると…。

B どうなるかね？

A 一九八〇年には一二、八八一万、二〇〇〇年には実に一[illegible]

A どつこいそうは問屋が卸さない。支那大陸にはカーテンが降りてしまつている。東南アジアは対日悪感情が当分抜けまい。イ国のハツタ首相は「日本人の大量移民はインドネシヤに害を与える」と声明している。

B 八方塞りといふところだね。

A 仮りに八方明いていても、移民だけで人口問題の解決は不可能だ。

B その理由は？

A ざつとした算術だが、昭和十六年当時の在外邦人は六百—七百万、海外での出生死亡を考慮して五百—六百万と抑え、これを五十年の移民年数で割ると、一ケ年平均十万—十二万といふところだ。これが日本帝国主義華やかなりし頃のことだから…

B 判つた。一ケ年百二十—百五十万増えるのに五万や十万送り出しても益するところ幾千ぞやだね。

A 少しでも出す努力は絶対必要だが…。

B 産児制限、受胎制限はどうだ

A これも社会的習慣から大きな期待はもてない。建康な夫婦生活の間に出来た子供はなかなか中絶などしたがらぬ。

B ふん、ふん。

A おまけに衛生観念の發達と科学の進歩によつて、この十年間に平均十年寿命がのびている。

B 結構すぎるね。

A そこで政府は国土そう合開發[illegible]て、現在三案に落付ち有望視されているのが、十津川の風屋、北山川の池原、熊野川の小鹿をトリオとした案だ。この三ケ所に大ダムを構築し、小原、土場、小鹿等に發電所を設けて、日本の全水力量の凡そ十分の一に相当する電力を生み出そうといふ計画だ。建設局の算出によると最大出力小鹿七十万KW、池原八万KW…。

B まとめてわかり易くたのむ。

A うん。最大出力合計九十万五千KW、常時出力合計二十七億三千万KWH…。

B ピンと来ないね。

A これを労動力に換算すると二十億人日、金額にして二百—二百五十億円、石炭エネルギーにして二百八十—三百万トンに匹敵するといつたらどうだい。

B 少し判つてきたような気がする。

A 日本人口八千万を一戸平均五人として一千六百万戸に六十Wの電燈を、ロスなしとすれば七時間点燈一ケ年つゞけ得る。

B ほう！。

A 日本の国鉄全線を複線にして電化出来る。

B ますます具体的に解つてきた

A これだけの富をむざむざ流している訳だ。

B 勿体ない。何とかならぬものか？

A ならぬものかでなく、なさねばならぬのだよ。和歌山県のため、日本のためにね。大体河川は年々流砂で浅くなり、こう水の頻度が増してくるは物理的自然現象で世界共通の悩みになつている。ダムは自然を制御し、人類に奉仕させる役をする。

B 人間の偉大なる所以だね。

A 第一に流域の森林が蘇生する。奥地未開發森林の良質材に斧鉞が入る。

B 景気がいゝね。しかし天下の瀞峡が埋没するのはマイナスだね。

A 冗談いつちゃいかん。琵琶湖の四分の一といふ一大人造湖観光湖が出現する。しかもこれが迂余曲折の美観に恍惚とさせられる。

B なる程！そうなれば吉野熊野国立公園に一大偉力を加へ、観光県としても更に重きをなす訳だ。

A 一KWH当り七円といふ石[illegible]日帰り出来る。紀勢西線電化は勿論だ。

B ジヤワ島のようになるね。

A 工業用水も豊富で、沿線到るところ無煤煙の明朗モダン工場が建ち、こゝに莫大な労動力が吸収され、文化的商品がじやんじやん生み出される。

B 原材料、製品の運搬だけでも大変だ。

A 陸海双方大繁昌さ。勿論、小鹿ダムが完成すれば、流砂がとまるから、新宮河口港は勝浦港と共に大貿易港になる。

B それにつれて諸官公署、銀行貿易商社、劇場、映画館等々がどしどし出来る。

A 景色のよいところには金儲けがない、という俗説は、ひとり和歌山県には通用しなくなる。沿岸明眉の地帯には千差万別色とりどりの別荘や住宅が建ち電車が走り、住民の生活様式も豊富な電気によつて文化的になる。

B どうもますます嬉しいね。

A 奥地は灌漑によつて深く開拓干拓され温泉地帯や湖岸には国際観光ホテルも建ち、交通、ホテル等サービス業も多くの人口を収容する。奥地人口は反つて增加する。

B 漁業も刺戟をうけて活潑になるだろう。

A 熊野川の流失材も完全に問題解消だ。

B 理想郷も夢ではないようだ。早く実現させたいものだ。

A 五月二十日に国土総合開發法案が公布されたし、県民の熱意如何では実現も案外早いだろう工事にかゝれば、五千人の労務者が要るから失業なんてよその国の話になり、直接間接の利益は計り知れない。

B 素晴らしいね。

A 既にダムの調査事務所が新宮市に設置されることに決定したし、本式にとりかゝれば十年後には県全体が都会化へスタートする。

B 気候はいゝし、風光は晴れている。温泉もあり、ダムが出来て工業が興れば鬼に金棒だ。

A 牧場、ゴルフ場、ハイキングコース御意のまゝだ。

B どうもすつかり愉快になつてしまつた。

＝栄養の本義＝

公衆衛生課 坂本一男

すべての学問がそうであるように栄養学もたゞ学問として奉つておくものであつてはならない。吾々の食生活にこれを真剣にとり入れる工夫と努力が大切である。

正しい栄養が、社会全般に認識され国民のすべてが栄養改善を実施するならば、日本民族の發展に立派な役割を果すであらう。

栄養が疾病の予防に、家庭経済の安定に、作業能率の増進に、そして社会道徳の確立に夫々、深く結びついていることを、しかと胸に刻みたい。

まさに栄養は食生活の根本であるから、食生活を合理的に営むことによつて、吾々は喜々として朗らかに楽しく、生涯が送られるものである。栄養の本義とは何か、少しく例をあげて説明を加えて見よう。

一、保健と栄養

身体が丈夫であるかどうか、又立派な体の持主であるかどうか、その素因は遠く母胎に宿つている間に決定づけられる、そしてこれらの決定が母体の栄養状態によつて大きく左右される事実を知るならば、世の多くの人々は余りにも食の問題を非科学的に考えていたと後悔されるに違いない、人間として誰しも張るばかりの健康で活動出来ることを希わぬ者はあるまい。自らの貧弱な体格、体質をふりかえつてみたとき既におそいが、たゞせめてこれらの生がいを何とか病気に罹らないように意をくばることが大切であらう。このためには部分的飢餓－ある種の栄養缺陥－がおこらないように偏食を避け栄養を完全にしなくてはならない。栄養不足によつていろいろの病気がおこるが、私は自らの体験といく人かに試してみた経験の結果から風邪の例をあげて世の人々の関心を喚起したいとおもう。

風邪は冬から初春にかけて多いことは御存知の通りだが身体の抵抗力が強い人は、仲々罹らない、たとえ罹つても軽い場合が多い。しかし反対に身体の弱い人抵抗力の弱い人は何度でも風邪をひく、風邪をひくと扁桃腺がはれて咽喉が痛くなつたり熱が出て憂鬱なものである。うつかりする と風邪がもとで大病を患うこともしばしばおこる。

この不愉快な風邪を予防する方法として思いついたのが、ビタミン錠剤（A、D球）の服用であつた、毎日大体二粒宛－一粒A、二五〇〇国際単位－を十一月頃から始めて冬中服用したところ毎年冬になると二回位は風邪をひいて四－五日は病床につかなくてはならなかつたものだが、この時は扁桃腺もはれず、僅かに鼻風邪一度だけですんだ、この効果も自分だけではと疑念をもち、身近の人にもすゝめて試みたところ同一の結果を得た。

理論的には、栄養学を学んだ人なら必ず、ビタミンAやDが黴菌に対して抵抗力をもつことを知つているだがこれを学問として棚上げしてしまつて、実生活に応用しないまでである。食物からビタミンA、Dの多いものを充分摂りさえすれば勿論同じことであるがもし面倒だつたら このように栄養剤としてとることも早道である効果の顕著なことを目のあたり見て、一驚すると共に栄養学理の正しさを感激をもつて見守るであらう。とにかく栄養の第一目標は吾々の健康を守り、健康を増進することにある。

二、経済と栄養

高度の栄養知識をもつて食生活改善を行うことは家庭経済を大いに助ける、何故なれば病気に罹ることが少ければ医療費や売薬費が当然少くてすむからである。売薬を購入して家庭治療を行つている人が相当数えられるから年間を通じて馬鹿にならない出費になる。従つてこの方面から考えただけでもどんなに栄養が経済に結びついているかを知ることが出来る。ところが経済の面から見て、栄養がもつと大きく且、深く結びついている事実をこゝに例を掲げて示して見よう。

蛋白質は血や肉をつくるに必要な成分であるが、必要量が決められていて、これだけとることが出来なければいろいろの缺陥が身体に現われるから、どんな場合でも必要の最低量をみたさなければならない。このとき栄養知識さえもつて上手に応用できれば最低の出費で蛋白質を十分とることが出来る即ち蛋白質は魚や肉に多い から魚をもつて蛋白給源とする場合鯛や鰹をやめて鰯や 鰊 秋刀魚 のような安価な魚を選んでも同じことである、肉でも上等肉でなくとも小間切肉でよい、むしろ、選び方さえ間違わなければ、安価で反つて価値の高いものをとることが出来よう。又蛋白質は必要以上にとれば貯蔵されず 排泄 されてしまうばかりでなく、臓器の負担を重くするから反つて害がある。経済栄養の原理は、こゝにあることを知つて充分栄養知識を養いたいものである。

三、能率と栄養

吾々が能率をあげるためには、先づ完全な健康体であることが要求される、もしも身体の調子が少しでも悪ければ、仕事をしても決して能率を高めることが出来ないであらう。必ず能率が落ちるに決つている、この身体の調子が悪い場合とは、はつきり病気だと確認されたなら論外であるが、疲労、倦怠感のような、病気とは言えない状態が多いものである。

ビタミンBやCが欠乏するとよくこうした状態に陥る。

このような時に工場で働く労働者について調べたらすぐわかるが、作業能率が低下する、運動家がよいレコードを保持するためにも、農夫が朝から晩まで一日中野良で元気一杯に働くためにも、身体の調子が悪くては目的が果せない。能率と栄養はこのように関係が深いものである。

四、社會道徳と栄養

「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉がある。又「衣食足りて礼節を知る」という諺もある。

健康なくしてろくな思想が湧く筈はないし、食物が充分でなく空腹を抱えていては、道徳も何もあつたものではない。

「武士は食わねど高楊子」では決して長くはもつまいと思う敗戦によつて吾々は幾多の苦い体験をなめたが、殊に食糧の不足による社会の混乱によつて生じた悲劇は忘れることの出来ないものである。

思想の悪化と道徳の頽廃は数多くの強盗殺人事件となつて現われた。何処でも見られた畑泥棒などは、まだ小さな事件に過ぎなかつたがいかに社会の安寧が食と結ばれているかを率直に示したものに外ならない。あの時幸いアメリカの好意によつて食糧が輸入され、どうやら最低食生活が保証されたから、いゝようなものゝ、もしそうでなかつたら、日本がどうなつていたか想像するさえ恐しい限りである。

食糧と栄養は一体のものであるから、このように社会上の見地をもつてすればどんなに栄養が大切なものであり、道徳の育成に絶体なものであるかゞおわかりになると思う。

×× ××

以上四つのことについて分り易い例をとつて、申し述べたが、この世に生を享けて幸福な生活を送ろうとする吾々にとつて栄養の重要性はまだまだ限りなく多くの問題と結びつけて考えることが出来よう。眞に栄養の本義に徹して社会福祉と人類幸福のため肩を組んで邁進したいものである。

新年料理

あらたまの、年にふさわしいお料理を材料の工夫で栄養的に盛り合せましょう。

一日（五人前）

朝 お雑煮、重詰（おせち煮）

昼 魚白ソース掛け、小蕪添え、魚四〇〇瓦白ソース五〇瓦小蕪適宜

夕 小田巻蒸し、（一人当）うどん一〇本かまぼこ一〇〇瓦玉子一五〇瓦椎茸五枚みつば少々煮出汁三、五合醤油、塩、砂糖適宜

二日

朝 変り雑煮重詰（おせち煮）かまぼこ一二〇瓦三つ葉少々馬鈴薯三〇〇瓦のり一枚お餅適宜

昼 中華丼、すまし 豚肉二五〇瓦、卵一五〇瓦葱一〇〇、人参一二〇、紅生姜少々 すまし ほうれん草、麩適宜

夕 野菜ラグウ 馬鈴薯三〇〇瓦、人参一二〇、玉葱七〇、大根一五〇バター三〇瓦、塩胡椒適宜 〇香の物

三日

朝 お雑煮、重詰（おせち煮）

昼 串カツ、人参キャベツのソテー 牛肉三七〇瓦、人参二五〇キャベツ二〇〇

夕 寄鍋 いか三〇〇瓦、竹輪一二〇麩一本、野菜七〇〇瓦

お重詰

一の重 紅白かまぼこ、玉兎（卵）松葉ぎんなん、雪中梅（寒天）栗きんとん

二の重 錦玉子、魚味噌焼、松笠いか、光淋菊（小蕪）海老具足煮、昆布巻

三の重（旨煮）黒豆艶煮、竹牛蒡、亀甲椎茸、松里芋矢羽根蓮根、梅人参

その他吉例に因んでかずの子、勝栗、ごまめ、なます、するめ等適当に用いて下さい。おせち煮は、牛蒡、芋、こんにやく、人参、焼豆腐など、いろいろとり合せましょう。不足し勝なカルシウムの補給のために小魚や海草類を御利用下さい。

冬の衛生讀本

カゼの用心が第一

かぜ

冬といえばかぜを考えるほど大ていの人は冬季にはかぜにかゝりやすい。かぜをひくとそれがきつかけとなつていろいろの病気にかゝる。特に子供の場合は抵抗力に弱いためいろいろな余病を引起しがちである。例えば気管支炎、肺炎結核のような呼吸器に関係のある病気や中耳炎など耳の病気もある。かぜの正体はまだはつきりしていないが非常に微細なヴィールス（濾化性菌）が原因と見られ、このヴィールスによるかぜを流行性感冒といゝ悪性のものが多い。またゝうちに気温の変化に体温が十分適応できないことから罹ることも多い。病後の体、睡眠不足、栄養不良、過労等のように体が弱つていて寒さに抵抗できないときにかぜにかゝりやすい。予防法としては

寒さに負けない体にする

それには皮膚をきたえ、充分な栄養をとり、休養睡眠を充分とつて疲れを持ち越さず、薄着に慣れること

正しい生活を守る

うたゝ寝をつゝしみ、湯ざめをしないよう、気候に合せて衣服を調節し、汗の始末をよくして生活上にゆだんをしないこと

餅の黒かび

お正月の餅も一寸日がたつとかびが生えます。かびにもいろいろありますが赤かびと青かびは別に害もありませんが、黒かびは非常に有害です。時にはこの黒かびが耳に入つた場合はつんぼになるような恐れもあります。だから、この黒かびの生えないように注意することが大切です。

肺炎

毎年何万という人が肺炎で死んでいるが今年も肺炎流行の時季がきた。肺炎といつても種類が多くそのうちで一番多く人々が罹されるものに、クループ性肺炎と気管支炎とがあるグループ性肺炎というのは肺炎双球菌という細菌によつておこる。しかしこの菌をもつたからといつて必ず發病するものではなく、身体の抵抗力が弱い時に罹されるものである。發病の前兆としては急に寒気がして、ガタガタふるえがき、三九－四〇度の高熱がでてくる。そして咳が出、胸が痛み呼吸が苦しくなり、タンは赤さび色をしたのが出て来る。このような熱が一週間つゞいてその後沢山汗をかき急に熱が下つて回復に向うのであるが心臓の弱い人はそれまで保たないでしょう。気管支肺炎は気管支炎がだんだんこうじて、肺炎になつて行くものである。インフルエンザ、ハシカ百日咳等はそれぞれ気管支炎がおこつているので、これがもとで肺炎がおこる。このような場合は肺炎の兆候がはつきりしないが、熱が段々のぼつて来て下らない。呼吸も苦しくなつて来る、咳も出るタンも出る。身体が弱つていると ころにこうなるから厄介である殊にインフルエンザ肺炎、麻疹肺炎、百日咳、肺炎等はたちが悪いとされている。肺炎を予防するには、先ず身体を強くしておくこと、過労になつたり、寒気にさらされたり、又酒をのみすぎにならないようにすることが大切である。小さい子供の場合は栄養の悪いことが一番いけない。

感冒、ハシカ、百日咳等の場合はよく注意し、変だと思つたらすぐ肺炎の手当が大切だ。肺炎の治療には、ズルファミンペニシリンは特効薬として有名であるが、これだけでは充分とはいえなく、ゆきとゞいた看護の手がなくてはならない。部屋を温める事は必要であるが炭火をカンカンおこすことはよくない。湯タンポはよい事だ。

未だし……病院管理の實態

新日本建設と云う、新しい社会の構想に適合した医療を、国民平等に施すようにすることが、今日の医療対策の重要課題であり、これがためには、先ず従来低級であつた病院の内容を、改善充実することが一般大衆の声として強く要求されている。

従つて県においては、昨年から県下の全病院に対し（一）構造設備が科学的に完備しているか（二）病院の管理が適切であるか（三）医師以下従業員が充実しているかその他サービスが行届いているか等を主な事項として、一定の基準にもとずき、医療監視を行いこの結果をA、B、C、Dの四階級に分類し判定することになつている。

ところで、今回昨年度の病院検査の判定が決定されたので、こゝに發表します。

級別＼検査別	管理	構造設備	人員
A級	一	一	一二
B級	一六	一三	九
C級	七	九	一
D級	―	一	二

右の結果によつて、病院内容の成績を概観してみると、最もよいのは、人員の点で半数の病院がA級で他は概ね中位にあると云つてよい。又最も重要視しなければならない構造設備については、A級が一ケ所で、中位乃至は以下の成績で、あまりかんばしくない。これの共通点としては、病院建物が他の既設建築物を改造していること、近代病院としての法定施設がないこと、その他衛生的設備に欠けている等の点が上げられる。病院の管理状態も大体中位若しくは以下の成績である。これを要するに、人員は概ね合格と云い得るが、設備及び管理の二点は不合格と云うことになる。構造設備の不成績については、上記のような事情の外に、累加する天災による施設の損耗と、先立つ資金面の不如意が大きく原因していると思われるが、病院当事者は病院財政の困難を克服して、逐次設備改善をなしつゝある現状で、その熱意は高く評価すべく、一般に認められるところである。以上の判定は昭和二十四年末検査の結果によるものであり、結核、伝染の病院は含まれていないことを断つて置く、なお昭和二十五年度検査は近く終了の予定である。

冬の栄養

脂氣をとること

今年の冬は、意外にも早く急に寒くなり、人々はあわてて冬ごもりの支度をはじめました。冬は夏に比べると二五－三〇度の温度のひらきがあり、このごろのように気温が低く寒くなりますと体温の發散も多いので、それにともなつて熱量を多く消費します。この体温の發散を補うためにはどんなものを摂つたらよいのでしょうか。

身体の中で熱量をつくるものは、食物の成分中含水炭素、脂肪、たん白質の三つですが、このうち含水炭素とたん白質は一グラムについて四カロリー、脂肪は同じ一〆について九カロリーも出します。このように脂肪からは他の成分の二倍余りも多くのカロリーをとることが出来ますから、脂肪をとることは少い分量で多くのカロリーをとることになります。

芋類や澱粉の含水炭素を多く含んだものも、消化作用によつて体内で燃焼して体温や働く力になりますが、これの過剰は肝臓や胃腸が弱つて病気に対する抵抗力を減じますから二割以上も消費される熱量の補給に含水炭素を使うことは、唯いたずらに胃腸の負担を重くするに過ぎません。したがつて脂肪の多いものは寒さを防ぐ食べ物として適当でしょう。日本人は淡白な味を好み、冬は濃厚な食物を選ぶのはこの理です。脂肪といえばゴマ油やバターばかりでなく、魚の肉や内臓にも沢山含まれています。

またこの摂り方ですが、脂肪は体内で完全に燃焼するためにはビタミンAを多く必要とします。すなわち脂肪が消化吸収するのにビタミンAがあればその利用効率が高くなるのですから、人参や青菜などの色の濃いビタミンAを多く含む食品と一しよに添えるとか、野菜の油炒めなどにして毎日少しずつ異つた形にして摂れば効率的でしょう。

野菜の不足は、野菜に多く含まれるビタミンAとCの不足を起しやすいので、ビタミンAは脂溶性のビタミンでかなり多量に貯蔵されますから、急に欠乏症が現われることもありませんが、一面それだけに危険だといえましょう。Aが不足しますと病源菌に対する抵抗力が減少し、ひどくなると眼乾燥症、夜盲症などをひき起します。このビタミンAは前にも述べた通り緑や赤、黄の色野菜に多いのですが、冬期間で貯蔵のきく色野菜といえば人参以外にありませんから、人参は冬野菜のビタミンの女王ともいえましょう。

次にビタミンCですが、この欠乏症、すなわち壊血病は急性に起るものですから、野菜の欠乏が少しつづけば冬のうちに發病するようになります。これはビタミンCは毎日相当量の排泄が行われて、多量に食べても排泄の量も多くなつて体内貯蔵はごくわずかだからです。冬の野菜のC源としてまずあげられるのはホーレン草大根ですが、調理によつてビタミンAはさほど変化しませんがCの破壊率は大体十分間で平均六〇％も損失し、熱に弱いビタミンですからその調理はなるべく短期間に操作し、必要以上にゆでたり煮たりすることは禁物です。

その点みかんは毎日中位のものを一個食べれば一日のビタミンCの必要量を満たすことが出来ますから最もよい給源といえましょう。しかしこのビタミンも貯蔵中に減少変化する憂えがありますが、種々実験の結果、腐敗に至らない状態ではその破壊は案外少いようです。

冬はすみにくい季節ですが、食生活の合理化、脂肪とビタミンA、Cの摂取を特に考慮することによつて、かなりしのぎ易くなるのではないでしょうか。なお少量のアルコールは完全に燃焼し、過剰でも無理に分解して熱を發生して都合のいい防寒食糧となることをつけ加えておきます。

土木工事入札結果

（十二月二十二日）

〇勝浦港護岸復旧工事 一、一九八、〇〇〇円 浅川組

〇太田村、太田橋復旧工事 三、三〇〇、〇〇〇円 浅川組

〇衣奈隧道復旧工事 二、七九〇、〇〇〇円 羽原組

〇湯浅町、山田川筋護岸復旧工事 八五〇、〇〇〇円 中井長太郎